

地域密着型金融の取組事例

タイトル 出向く渉外活動

JA名 JA北群渋川(群馬県)

1 動機 (経緯)	<ul style="list-style-type: none"> ・当JAも合併JAとして、機構改革・支所統廃合やSS・MCの統合、営農関係のベテラン職員の退職など、生産農家との関係の希薄化が問題となるなか、経済事業の配送合理化を目的に物流改革の計画が立てられました。 ・配送業務を業者へ委託することにより、生産農家との関係の希薄化が一層加速することが懸念され、組合員とJAの接点強化を図るため営農経済渉外員の設置が同時に検討され、平成18年より実施されました。
2 概要	<ul style="list-style-type: none"> ・管内を大きく3つに区切り、巡回対象生産者を約100～120名に絞り込み、月1回以上の巡回を目標に活動しています。 ・月例会議・野菜振興会議では、常勤役員・関係部課長・各関係機関を交え、実績検討と野菜振興について協議しております。
3 成果 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回を重ねることで、生産農家との関係が回復し信頼が得られるようになり、営農事業以外の問い合わせも増えてきました。 ・特に新規就農者については、農機具等の購入に関わる資金調達等の問い合わせが多くなり、他部署との関わりが増えました。
4 今後の 予定(課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・営農経済渉外員の仕事は自己完結出来ない事が多く、関係部署と連携し問題を解決することが多いです。 ・特に新規就農者については金融部等と連携を密に行い、営農部門に限らない、総合的なバックアップ体制が必要です。 ・営農経済渉外員の活動が進んでいるJAは、選任化やミーティングへの役員・他部署の参加率が高いです。 ・今後は必要に応じて月例会議等に金融・共済部の参加と、同行巡回を行ってまいります。